慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	M・ジロー 第十八世紀初頭におけるフランスとルイジアナ
Sub Title	
Author	渡邊, 国広
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1952
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.45, No.3 (1952. 3) ,p.219(77)- 220(78)
JaLC DOI	10.14991/001.19520301-0077
Abstract	
Notes	論文紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19520301-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

府は徐々に帝國主義的活動に協力せざるを得なくなつて來た。殊に一八九〇年のサリスベリー協定は植民地活動へ國内の同情を昂め、アフリカに於ける成功も認められるに至つた。一八九三年には自由黨内閣ですら「世界が形成途上にある限り、獨りアングロサクソンを以て世界を掩ふ事は英國の傳統であり責任である」旨を强調した。かくて英國は南阿に、米國は太平洋に西歐諸國は中國に、「帝國主義」を浸透して行つた。米西戰爭に際會したアメリカは主張する。「我々は通商戰爭の進行より脱落せぬ爲には、それ――通商と過剰資本の利益の爲の植民地を――必要とする。」やがて中國を中心とする各國の植民地爭奪は益々熾烈化して行つた。

一方帝國主義を初めて完全に經濟的關連より考察・表現したのは、一九〇〇年の第五回パリ國際社會主義者大會の決議であらう。「資本主義は各國間の鬪爭の原因たる植民地擴張を導き……資本家階級の利益を增大」すると、その決議は述べてゐる。處かその當事者或は國民は「帝國の擴張こそ、我々の永遠の理想である」とすら考へてゐた。彼等には植民地があつて初めて大英帝國は眞に大英帝國なのであり、海外企業家は祖國愛よりする開拓者になぞらへられた。物質的利益の幻影がこの樣に民衆を引つつてゐる時、一八九七年の女皇卽位六十年祭を利用して保守黨政府は積極的な植民政策を闡明した。「帝國主義の空氣は漲り、全ての階級は見物とヒステリックな忠誠心に醉つた」とウェッブ夫人はその日記に記してゐる。殊に一八九八年米西戰爭が米國の勝利に終るや、大西洋を挾むアングロサクソンの兩國は密接に結び付き、米國々内に於ても帝國主義への關心と期待は急速に昂まり、ワシントン・ポストをして「帝國形成こそアメリカ・デモクラシーの叫びである」と確言せしむるまでに至つた。

帝國主義的思想・行爲のこの急激な發展に對して、他方ブーア戰爭以來醸成されつゝあつた批難も急速に昂まつた。卽ち一八九九年チョン・モーリーは「帝國主義は云ひ換へれば侵略主義でもあり得る」旨を率直に述べて、帝國主義に關する論爭への一つの手懸りを與へた。之に對してその擁護者は帝國主義をその經濟的利益との關連から辯護しやうと努めてゐる。併しそれに反對する者にとつては、それは飽くなき侵略への無意味な欲求に過ぎない。しかも資本・技術の流出は却て本國を壓迫するに至るであらうし、一方そこから得られる利益を享受出來るのは一部の階級のみに限られるのである。「あらゆる新しい市場を獲得しようとする幾多の商社・資本家・冒險家・企業屋の上に位置する政府は非難の焦點となつた。

先にブーア戰爭の開始に當り、南阿の實情を調査して「南阿戰爭・その原因と結果」なる著書を出版したホブソンは、同時にその害惡を明かにするため、帝國主義の體系的研究に着手した。彼の精神に見られるものは、かのブラッドストンとコブデンとの思想であつた。それは正しき自由の追求と特定階級利益への抗議である。彼は之を社會の經濟機構の中で理解し說明した。英國に例を取り、過去二十年間に於けるデータを分析した結果、植民地は人口の捌け口としても市場としても價値なき事が明かになつた。侵略を强要する者は軍人であり、商工業者であり、更にそれに止まらず、國内を見限つて海外に投資口を見出さうとする資本家である。ホブソンは此の點から一步進んで資本主義自體の缺陷を見出さうと試みた。その結論が「過少消費と過剰蓄積」の理論である。此處に帝國主義の概念の新しい章が開かれ、經濟機構の上から眞に有機的理解が可能とされたのである。

（平賀健吉）

M・ジロー

『第十八世紀初頭におけるフランスとルイジアナ』

（Marcel Giraud, "La France et la Louisiane au debut du XVIIIe siecle," Revue Historique, Octobre-Décembre 1950. pp. 185-208.）

スペイン繼承戰爭の進展と共に、フランスの窮狀は深刻化して來た。失業者は增し、浮浪者は巷に溢れ、人々は競つて公共の保護を求めたが、生活難の全國的波及に依つて、解決は極めて困難となつた。このため一部にルイジアナ移民を希望する者も出て來た。それはフランス沿岸諸都市において特に多かつた。然し當時のフランスには植民計畫の遂行に必要な準備があるわけではなく、資金の調達にも數年を要するくらいであつた。しかも戰爭に依る打擊は、ユトレヒトの和解後においても、この國の海外進出にとつて大きな障碍となり、政府の無力と不熱心とが祟つて、植民地は長く不安定且つ未開の狀態に放置されてゐた。但しルイジアナ植民地のかかる狀態は爲政者の怠慢が直接の原因ではない。第十八世紀初頭のフランス本國の困難な國内情勢一般の端的な反映であつたのである。

然らば當時フランスは如何なる實情にあつたか。果して第十八世紀初頭のフランスに植民計畫のための十分な物的基礎があつたであらうか。ルイジアナ移住者の大部分は日常の些細な出費にも事缺き、多額な不足分をヴェラクルスのスペイン人から借受ける有樣であつた。從つて自立は困難な實情にあつたのではないか。のみならず多難な植民活動のための精神的準備も果して完全であつたといへるか。宣教師は、耶蘇會に屬する一部を除けば、カプチノ會員もフランシスコ會嚴律派や同會繩帶派の人々も、布教に對し積極性を缺いてゐたのではなかつたか。

フランスは第十八世紀初頭において特に疲弊してゐた。國家に對する一般の不信は募つて、公債の完全消化も當時にあつては甚だ覺束なかつた。戰爭は國家財政を不當に壓迫し、海軍豫算は削減されて、植民計畫の指導も困難なくらいであつた。フランス沿岸は無防備狀態に放置され、私拿捕船の危險は募つたが、一七〇九年には極度の財政難から小型船舶の武裝は撤廢され、事態は却つて惡化して行くばかりであつた。更には給料の不拂が、一七〇九年・一一年・一三年と打續く飢饉の發生と相

俠つて、乘組員の生活不安を增大させ、ロシュフォールに勃發した一七〇六年の騷擾を經て、一七〇九年と一二年との兩年に困窮は絶頂に達し、家具や衣服を賣拂つて生活費に充當する者、無錢飲食する者・掠奪暴行を事とする者が相當數あつて、人心の混亂が殊に甚だしかつた上に、離職者も續々と出て、國防は正に危機に瀕した。このためツーロンやダンケルクの諸港においては特に早くから囚人が使役されてゐたけれども、御用商人の頻繁な背任行爲に依り、更には更生施設の不備が祟つて、彼等の生活も亦困難を極め、海上勢力の低下は豫想外に甚だしかつた。カナダ植民の將來を繞つて一部に强い樂觀論があつたとしても、第十七世紀末には早くも悲觀論が擡頭し、人口百五十萬を容易に收容することの可能な場所でありながら、植民地カナダが今後未開狀態を續けて行くのではなからうかといふ疑問が廣く抱かれた。事實その公算が相當に大であつた。物的基礎の不足に起因したかかる不安は、愛國心の缺如に依つて一段と深大化されたが、人心の收拾に當るべき司教の態度には眞劍味が至つて乏しく、植民地布教を斷乎拒否する者すらあり、第十八世紀初頭のフランスは物心兩面において總じて甚だしく不安定狀態にあつた。

丁度この時期にルイジアナ植民は開始されたのであつたが、本國には計畫を支援する實力が全くなかつたため、開發は甚だしく遲れてしまつた。更に本國の二倍にも達する植民地の高物價に依つて移住者の生活維持も相當困難となり、原住民の間に定住し得た少數の移住者を除いて、他は悉く四散し、ルイジアナ植民計畫の前途には實に暗澹たるものがあつた。

先づ補給の問題であるが、船舶不足のため萬事に支障が多く、集荷の困難も手傳ひ、容易ならぬことであつた。且つ酷暑のため積荷は多く腐敗し、穀物・野菜・肉の補給は圓滑を缺いたため、移住者は大抵の場合、原地產玉蜀黍に依存する以外になく、十分な榮養の確保は不可能であつたから、病人は續出し、開發に必要な人員の獲得は最初から至難であつた。このため一部に强制移住の計畫があつたが、財政的に無力な本國にとりこの實行は仲々の困難事であつた。從つて植民地ルイジアナは本國の援助を絶たれて全くの孤立無緣の狀態に置かれた。船材として重要なルイジアナ木材資源の開發についても、必要な勞働力が得られない儘に、遂に放置された。又農業についても、移住者の大部分が耕作に全く未經驗な人達であつたため、多くは失敗に歸してしまつた。ルイジアナ植民當初におけるかかる事情は、然し新大陸のフランス諸植民地の狀態と比較して餘程に殺伐であり、それは又ルイ十四世治下の本國の紊亂が齎らした不幸な結果でもあつたのである。

（渡邊國廣）

編集後記

最近、急の必要あつて、塾圖書館所藏のアダム・スミス著書及び研究書の目錄の作成に從事したが、かねてから豫想はしたものの、その數のおびただしいことにあらためて驚かされたことである。とくに『國富論』の原版や各種の版本の數において、たしかに世界的にほこるに足ると考えられる。

だが、それにしても經濟學はなんと進歩しない科學であることか？　今日においても經濟學はアダム・スミスのそれからどれほど隔絶していると云えるであろうか？　過日、先輩の一教授とこのことを語り合つて、しばし長嘆息しなければならなかつた。

スミスの體系について彼の死後、いろいろ批判や解釋が行われたが、基本的範疇や法則はいまだにいきいきと生きている。革命家マルクスは同時に經濟學史上の最大の變革者でもあつたが、彼の『資本論』は、その理論的素材を全くスミスに仰いでいると云えよう。ともかく經濟學の歷史においては、化學や物理の歷史にみられるような「革命」はみられないようである。

靜かにキャノンゲイトの靈場にねむるスミスは、その死後一世紀半を經て、いまだに彼の文獻目錄の作成にあくせくしなければならない日本の經濟學者たちを、その持ち前の寬容さから微笑を以てながめることであろうか？　あるいは特有の機智にあふれた一句を吐いて皮肉まじりの笑顏を以てながめることであろうか？

古書の寸法を物差ではかりながら、そんなことを考える。

（遊部久藏）

昭和二十七年二月二十五日印刷　第四十五卷
昭和二十七年三月　一　日發行　第三號

本號　定價　七拾圓
送料　四圓

禁　轉　載

編集兼發行者　東京都港區芝三田慶大經濟學部內　高村象平
印刷者　東京都港區芝三田豐岡町八　川口芳太郎
印刷所　東京都港區芝三田豐岡町八　圖書印刷株式會社

豫約購讀料一年分　金八四〇圓（送料共）
半ケ年分　金四二〇圓（〃）

豫約購讀料は發行所宛お拂込み下さい。
誌代變更の場合は精算決濟致します。
編集に關する用件、營業に關する用件、販賣申込も發行所へ願います。

發行所　東京都港區芝三田二丁目　慶應義塾大學經濟學部研究室內　慶應義塾經濟學會
日本出版協會員B一一一〇一六